

TIAOZHAN RIYU KOUYU

主 编 赵 平

初 级 篇

挑战

日本語会話への挑戦

日 语 口 语



会 话

解 说

练 习

翻 译

中国科学技术大学出版社

初级篇

日本語会話への挑戦

挑战日语口语

主编 赵平



会 话

解 说

练 习

翻 译

中国科学技术大学出版社

图书在版编目(CIP)数据

挑战日语口语·初级/赵平主编. —合肥:中国科学技术大学出版社,2005.6
ISBN 7-312-01781-9

I. 挑… II. 赵… III. 日语—口语 IV. H369.9

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2005)第 028268 号

挑战日语口语·初级 赵平 主编

中国科学技术大学出版社出版发行

(安徽省合肥市金寨路 96 号,邮编:230026)

电话:0551-3602905 传真:0551-3602897

网址:<http://www.press.ustc.edu.cn>)

合肥学苑印务有限公司印刷

全国新华书店经销

开本:787mm×960mm 1/16 印张:19.5 字数:350 千

2005 年 6 月第 1 版 2005 年 6 月第 1 次印刷

印数:1—6000 册

ISBN 7-312-01781-9/H·351

定价:33.00 元(含练习答案。随赠配套录音光盘。)

(另有配套录音带发行)

序

伊藤茂

神戸学院大学教授

中国戯曲学院客座教授

「日本語会話への挑戦」から間をおかず、趙平さんの二冊目の日本語教科書が出版される。前著と同じく、会話体に的をしぼったもの、しかもより広く読まれる初級篇である。こうして生き生きとした日本語が、再び中国の多くの日本語学習者に提供されることをまずよろこびたい。

私たち日本人も外国語を学習する。大多数は英語である。その初級の英語教科書は、“Is this a pen?” “Yes, this is a pen.” といった例文から始まる。構文を覚えるためのものだろうが、この例文をそのまま使う日常場面はなかなか思い浮かばない。まして “Is this a table?” “Yes, this is a table.” “Is this a sofa?” “No, this isn't a sofa. This is a chair.” と続くと、不自然さを通り越して滑稽でさえある。

私たちは、もっと自由に会話している。かならずしも文法のとりこになっているわけではなく、ある意味、いいかげんでチャランポランだったりする。言いたいことをすばやく伝えあうには、そのほうが自然なのである。

趙平さんが本著で創作した会話文を読ませてもらった。とても自然な会話になっている。とくに日本人の会話の流れが持つ速度感がうまくとらえられ、つまりテンポがいいのである。ユーモアのスパイスもよくきいている。こういう日本語会話に慣れておけば、実践的な場面でどんなに役立つかと思う。

本著のもう一つの特長は、日本人の日常をありのままに写していることである。これは英語圏の日本語教科書の話なのだが、床の間を背にした着物姿の父親が正座し、その前で妻や子どもたちが同じく和服を着て礼儀正しく食事している挿絵があってびっくりしたことがあった。戦前であればともあれ、いまの日本のどこにそのような家庭があるだろう。もはや日本人はふだん着物を着ることはないし、父親の権威だって見る影もないほど弱くなっているのではないか。趙平さんが活写しているのは、固定したイメージの中にあ

る日本ではなく、いまの日本人の平均的な生活のひとこまなのである。気取らず、力まず、明るく暮らしている平凡な人たちである。

外国語を学習することは、同時に異文化を理解することでもある、とよく言われる。本著は、そういう考えを高いレベルで達成している。たんなる初級の語学的説明で終わらず、日本人の暮らしや心情を理解するためのヒントが会話文にも語句解説にも散りばめられていることに気づくだろう。それは趙平さんの密かなねらいでもあったようだ。本著が完成するまでに多くの日本人が参加協力しているが、それは趙平さんの志に共感したためにちがいない。

あらためて読者にお願ひする。この本で学習した成果を生かして積極的に日本人に話しかけてほしい。そして日本の友人をたくさん作ってほしい。あなたの日本語と日本理解によって作りだされる人間関係が、日中両国にとってこれからますます必要になると信じるからである。

序

伊藤茂

神戸学院大学教授

中国戏剧学院特聘教授

《挑战日语口语》一书出版后不久,赵平的第二册日语教材又问世了。此书同上一册书一样聚焦于口语,而且是一本能赢得更广泛读者的初级本。作者再次把生动活泼的日语口语展现在中国的日语学习者面前,实在令人欣喜。

我们日本人亦学习外语,大多学的是英语。初级英语教材大都以“Is this a pen?”“Yes, this is a pen.”之类的例句开篇。这是学习句子结构的需要,而在日常生活中我们却难以听到这样的说法。何况,下面再接上“Is this a table?”“Yes, this is a table.”“Is this a sofa?”“No, this isn't a sofa. This is a chair.”这样的句子,就非但不自然,甚至会显得有些滑稽了。

实际上,我们的日常会话更为随意,并不拘泥于语法,从某种意义上讲,还有些儿随意马虎。相互想要迅速地表达各自的想法,这样更为自然。

我读了本书中赵平创作的会话,它们极其自然。特别是他准确地把握了日本人说话过程中的速度感,也就是说,节奏感非常好,而且字里行间的幽默的效果也恰到好处,如果习惯了这样的口语,在实际的会话中你将会应对自如。

本书的另一个特点是如实地描绘了日本人的日常生活。英语圈的某一日语教材里有这样一幅插图:父亲身着和服背对壁龛正襟危坐,他对面的妻子和孩子们同样穿着和服,温文尔雅地吃着饭。这幅插图让我惊讶不已。如果是战前那倒也无可厚非,可是在当今的日本,哪里还能找到像这样的家庭呢?日本人平时已经不穿和服,而且父亲的权威也已经降到了几乎看不到的程度。赵平生动描绘的不是人们固定印象中的日本,而是当今日本人的普通生活画面,是那些不装腔作势、不逞威风、快乐生活着的平凡的人们。

常言道,“学习外语,同时也是理解异国文化”。本书在相当高的程度上体现了这一思想。它没有停留在初级语言学的说明上,我们在会话以及语句的解说中随处可见有助于理解日本人生活和感情的提示,这也是赵平暗自着力追求的一点。本书在编写中,得到了众多日本人的合作参与,毫无疑问,那是因为他

们对赵平的这种志向产生了共鸣。

诸位读者,我再次希望你们能灵活运用从本书中学到的知识,积极主动地和日本人交流,并结交更多的日本朋友。因为我相信,凭着你们的日语和对日本的理解而建立起来的人际关系,在今后的日中关系发展中,将变得越发重要。

(吴昌萍 译)

前 言

前年底,《挑战日语口语》书稿完成后,我曾请一位日本教授帮助审阅。这位教授看过书稿后对我说:日语初学者尤应注重口语训练,但对初学者来说,这本书偏难,若能另外编写一本初级口语教材来满足他们的需求,那就太好了。

当时,我并没有留意日本教授的建议。去年1月,《挑战日语口语》出版,读者来信不断,其中就有要求编写一本较为浅显的口语教材的呼声。去年9月,学校迎新工作告一段落,同时,一位老朋友亦催促我考虑初级口语教材的编写,我这才动起了编写此书的念头,并在当月中旬开始动笔。原打算花一年时间来做完这份工作,谁知一旦着手,在日本学习、生活数十年的往事便排山倒海般地涌上心头,以此为素材,我完全进入了编写状态,夜以继日,仅用了半个月时间就完成了课文部分的创作。

为了保证日语用词的准确无误,我按惯例把书稿送请几位日本的专家、师友们圈点。大概是课文中的幽默之处引起了他们的兴味,他们纷纷表示愿意参与到编写队伍中来。于是我先编写出第1课其余的内容,以此为样本,约请各位参编者分别编写其他各课的第3大项的练习题,同时也向他们收集翻译练习的素材。在我完成全部解说部分的时候,练习部分的编写也宣告结束,36篇课外阅读的短文也已在心中酝酿成熟。几位翻译者的工作也是紧锣密鼓。这部从9月15日开始编写的书,在中日两国教师、学者的通力合作下,仅用了两个月的时间即宣告完成。

本书将日语口语的各种表现特点作了淋漓尽致的发挥。除此以外,它还有个最大的特点,就是最大限度地贴近现实生活。细心的读者可以看出,课文中描写的人和事,鲜有一般教科书中常见的“杜撰”痕迹。这是因为所有这些“趣人趣事”的创作都是取材于我生活中的所见所闻,我只不过做了一点点文字加工而已。生活的真实,同时也就是语言的真实。读者通过对这本教材的认真学习,一定能掌握日本人在实际生活中的的确确使用着的各种活生生的语言表达方式。说实话,我在编写这本教材的同时,对日语口语的认识又增进了一大步,心下颇有“百尺杆头又上一节”的感慨。

本书的另一大特点是“幽默”。由于这些幽默全都来自于实际生活,所以更

能令人回味。幽默能够为读者免去学习中死记硬背的枯燥,使读者会心一笑,在不经意间记住一些看似困难的表现方式。

练习部分的第3大题第6小题是本书的一个重要内容。如果做为学校教学使用,它既可构成练习,又可做为课外阅读材料。我们在撰写这个部分时,着眼实用与幽默,同时着重编入各种惯用型,以使读者从对本节的阅读中获得尽可能多的收获。第6小题基本不设解说或注释,只在第7小题中列出单词的发音,旨在培养读者独自思考、查阅的习惯,同时也给使用本书进行教学的教师提供自由发挥的空间。

练习部分1~5小题的编写除第1课外,全部由日本的专家、学者担任。编写者的研究和生活背景各异,编写出来的内容也各具特色(利用“竞争机制”,使每位专家、学者的能力得到最大限度的发挥,也是我邀请他们参与本书练习题编写的目的所在)。为了锻炼日语学习者的读题能力,题目均不做中文翻译。练习题的参考答案另为一册,仅供参考。

除直接参加的编写者之外,本书在编写过程中还得到如下日本友人的大力协助:春木和子、橘雄三、笕有志、伊藤光子、向井幸惠、松田加奈、森园良树、中上彻也、古贺胜行、前园忠一、福井耕一、山内茂、大桥定顺、永田聪。著名学者、日本戏剧杂志《幕》的总编伊藤茂教授特意为此书撰写了序文。在此一并深表谢意!

——赵 平

基本语汇词性分类说明

本书词性分类,参照了《新日汉辞典》(辽宁人民出版社,1997)、《现代日汉大辞典》(商务印书馆,1995)、《详解日中辞典》(光生馆,1982)、《日中辞典》(小学馆,1990)、《新明解国语词典》(三省堂,2004)、《大辞林》(三省堂,2002)、《广辞苑》(岩波书店,2002)。

1. 词性用日本文字表示
2. 一个词兼有两种以上词性时,中间用“·”隔开
3. 空一格表示“成语·熟语·惯用语”
4. 佛——佛教
5. 数——数学
6. 动——动物(名)
7. 拟声——拟声词
8. 理——物理

〔名〕名词

〔代〕代名词

〔形〕形容词

〔形動ダナ〕形容动词

〔感〕感叹词

〔副〕副词

〔副助〕副助词

〔接助〕接续助词

〔終助〕终助词

〔連体〕连体词

〔接〕接续词

〔接尾〕接尾语

〔連語〕连语词组

〔複〕复合词、复合词组或习惯搭配及其汉译

〔名ナ〕名词接「な」作形容动词

〔形動タルト〕形容动词タルト型活用

〔五〕五段活用动词

〔上一〕上一段活用动词

〔下一〕下一段活用动词

〔ス〕サ行变格活用动词

〔自〕自动词

〔他〕他动词

目 次

序	伊藤茂	i
前 言		v
基本语汇词性分类说明		vii
第1课 入園試験		1
第2课 ピーマンが嫌い		8
第3课 自由研究		15
第4课 交通安全とユニホーム		22
第5课 罰当たり		29
第6课 違いはどこだ		36
第7课 助数詞		43
第8课 うどん作り		49
第9课 X線撮影		55
第10课 誕生日プレゼント		62
第11课 言葉のアヤ		68
第12课 見えない原因		75
第13课 ワンマン社長		83
第14课 反論		91
第15课 カモノハシ		99
第16课 問題		106
第17课 誤用か誤解か		113
第18课 習字		122
第19课 怒る原因		130
第20课 推理		138
第21课 料理のさしすせそ		146
第22课 英語(1)		155
第23课 英語(2)		163
第24课 同音異義語(1)		171
第25课 同音異義語(2)		179
第26课 病院の話(1)		187

第 27 课	病院の話(2)	194
第 28 课	参観日	204
第 29 课	豆腐	212
第 30 课	じゃんけん	221
第 31 课	髪の毛	229
第 32 课	子供のいろいろ(1)	238
第 33 课	子供のいろいろ(2)	247
第 34 课	駄洒落	258
第 35 课	意外な理解	270
第 36 课	なぞなぞ	281
本书执笔者的责任范围		

第1課 入園試験

本课为幼儿园老师和幼儿以及幼儿母亲的对话，其“位相”（也称“语相”，即由于性别、职业、年龄、地域等不同而产生的语言相异现象）分别为男性用语、儿童用语和女性用语。幼儿园老师使用的是“常体”（だ・である体），从用词特征上可以看出这位老师为男性。由于他完全进入了与幼儿交流的语境中，所以常模仿儿童用语省略助词并使用名词接尾的形式。不过“よくできましたねえ”一句使用的是“敬体”（です・ます体），因为这句话既是表扬幼儿，又是说给幼儿母亲听的。母亲对孩子使用的是常体。幼儿使用的也是常体。

幼儿被问及木瓜的说法时回答不出，被老师夸奖后意外地说出木瓜的名称，让老师乐不可支。幼儿回家后想喝果汁，因为手里拿着水果，不知如何打开冰箱门，母亲让她动脑筋，她却用脑袋去开冰箱门，这种误会增添了幽默的色彩。

会 話

- 先生 小夜子ちゃん、可愛いね。
小夜子 うん。小夜子、みんなによく、「可愛いね」
って言われるの。
先生 そうなの。お利口だね。それでは、入園
試験を始めようか。
小夜子 はい。
先生 (バナナを見せて) これ、なにに？
小夜子 (首を傾げる) うーん？
先生 (バナナを見せて) じゃあ、これは？
小夜子 バナナ。
先生 (リンゴを見せて) それじゃあ、これはなに

基本語集

1. 入園(にゅうえん)[名・
ス自]入(幼儿)园，进园
(公园、动物园等)
2. 小夜子(さよこ)[名]人
名
3. 利口(りこう)[名・形
動]「リ」聪明，机灵
4. バナイヤ(papaya)[名]
万寿果，番木瓜，木瓜
5. 傾げる(かしげる)[下
一他]歪，倾斜
6. バナナ(banana)[名]香
蕉

基本語彙

7. リンゴ(林檎)[名]苹果
8. ちゃんと[副]正,端正,規矩矩矩;整齐;好好地,牢牢地
9. 転げ落ちる(ころげおちる)[上一自]滚落,跌落
10. 参る(まいる)[五自]败,投降;〔「行く,来る」的自谦语〕去,来
11. ご苦労様(ごくろうさま) 辛苦了(一般用于同辈以下)
12. ジュース(juice)[名](水果)汁,液
13. 冷蔵庫(れいぞうこ)[名]冰箱
14. 当てる(あてる)[下一他]放,上,贴近;碰,撞
15. 開ける(あける)[下一他]开,打开,开始

かなあ?

小夜子 リンゴ。

先生 よくできましたねえ。やっぱり好きなものはちゃんと言えるんだね。(三つ全部を見せて)じゃあ、この中で一番好きなものはなあに?

小夜子 パンパイヤ。

先生 (椅子から転げ落ちて)は一はは……! 参った!
(家に帰って)

母 はい、ご苦労様。今日の人園試験、良くできたわね。

小夜子 小夜子、パンパイヤ食べたい。

母 今から切ってあげるからね。はい、どうぞ。手で持って食べなさい。

小夜子 ジュースも飲みたい。

母 冷蔵庫にあるから自分で取って。

小夜子 手にパンパイヤがあるから取れないの。

母 もう幼稚園なんだから、頭を使いなさい。

小夜子 (不思議そうな顔をしてゆっくり頭を冷蔵庫に当てている)こう? 開けられないよ。

母 ……手に持っているパンパイヤを置いてやればいいのよ。頭なんかで開けられるわけないでしょう。もう!

小夜子 ……。

●●●●● 解説 ●●●●●

1. うん。小夜子、みんなによく、「可愛いね」つて言われるの

「うん」相当于「はい」,但比「はい」来得随便。

日本女孩子常用自己的名字自称,所以这里的「小夜子」应译成“我”。

「って」为口语表现,相当于「と」或「という」。

「～言われる」为「言う」的被动态。这种被动形式在日语中很常见,汉语却少用这种表现,翻译时多译做主动态。

◇ 彼はみんなに料理の鉄人だと言われている。

大家都称他为高厨。

2. これなーに?

「なーに」是「何」的口语形式,在这里表现幼儿园老师通过拉长声调模仿小孩子的发音方式来拉近与幼儿的距离。助词的省略在口语中则是司空见惯的。

3. 首を傾げる

意为“歪着头”。引申意为“因怀疑而略作思考”、“想不透”。

◇ あのペテン師の話に首をかしげた。

对那个江湖骗子的话表示怀疑。

4. 参った!

在这里意为“投降了”、“服了”、“认输了”。

◇ どうだ。参ったか。/怎么样?服了吧!

5. ご苦労様

对比自己地位低的人说「ご苦労様」或「ご苦労さん」,反之则说「お疲れ様」。

◇ 今日は本当にお疲れ様でした。/今天真劳您大驾了。

6. 今切っけあげるからね

「動詞の連用形+てあげる」的形式一般表示自谦,所以上对下一般不说「～てあげる」而说「～てやる」。然而母亲对孩子则绝少用「～てやる」,因为它为男性用语,略显粗暴。

◇ 教えてあげるから覚えてね。「花に水をあげる」ってのは正しくないのよ。/教给你可得记住哟,说「花に水をあげる」可不正确。

7. もう幼稚園なんだから、頭を使いなさい

「頭を使う」在这里是“动脑筋”的意思,小夜子却误会为“用头”。

8. 不思議そうな顔をしてゆっくり頭を冷蔵庫に当てている

样态助动词「そうだ」接动词连用形后描述说话者所看到、所感到的印象。

意为“看起来好像……”、“眼看着就要成为(变做)……似的”。

◇雪でも降りそうな空模様だ。/看起来像要下雪似的。

◇わあ、美味しそう！/哇！真馋人！

◇品が良さそうなら、買いなさい。

东西如果看起来好的话，那就买吧。

9. 手に持っているハンパイヤを置いてやればいいのに。頭なんかで開けられるわけないでしょ。もう！

「のに」在这里为表示逆接的终助词。

◇やればできたのに。/只要干，本来应该干好的。

「なんか」为副助词「など」的口语形式，表列举。

◇けてもんなんか食べないよ。/我才不吃内脏什么的呢！

「もう！」在这里作为感叹词使用，表示不满、不安和愤怒等心情。

◇ああ、もう行っちゃったのか。もうっ！/啊，已经没影了！真是的！

● ● ● ● ● ● ● 練 習 ● ● ● ● ● ● ●

1. 次の敬体(です・ます体)の文を、より自然な話し言葉(会話文・談話文)に直しなさい。

例:これはなんですか。⇒これ、なに?

(1)いいえ、私はハンパイヤが嫌いです。⇒

(2)それでは、それは何でしょうか。⇒

(3)あんな人の言うことなどは知りたくもありません。⇒

(4)彼は、「ああ、疲れた」と言っています。⇒

(5)いいですよ。私が片づけますから。⇒

2. 次の()に助詞を入れなさい。

(1)新学期()始まりましたね。それでは、授業()始めましょう。

(2)これ()なにかなあ。前に見たこと()あるようです。

(3)ジュース()飲みたいし、果物()食べたい。

(4)私()じゃなくて、彼()この問題()当てなさい。

(5)彼の自慢話()聞きたくない。

3. 逆接を表す「のに」、伝聞・様態を表す「そうだ」、感嘆を表す「もう」を次の()に入れなさい。

- (1)できない(),できるとほらを吹いている。
(2)壊れ()じゃないか。危ないね。
(3)教えている()全く聞く耳持たずだね。()！
(4)行くと言った(),彼行かなかった()。

4. 下の言葉を読みなさい。

- (1)これはなんですか。→これはなに? →これ、なに? →これ、なあに?
(2)時間がないのでいけません。→時間ないのでいけない。→時間ないんでいけない。

5. 下の問題に日本語で答えなさい。

- (1)小夜子ちゃんは男ですか、女ですか。
(2)小夜子ちゃんが好きな果物は何ですか。
(3)お母さんはパパイヤをどうしましたか。
(4)ジュースはどこにありますか。
(5)小夜子ちゃんの手には何を持っていますか。
(6)小夜子ちゃんはどうやって冷蔵庫を開けようとしてましたか。

6. 次の会話文を読み、中国語で要約しなさい。

四輪車

- 呉 王君、自転車乗れる?
王 乗れるよ、もちろん。呉君は?
呉 僕? 四輪車なら……。
王 四輪車? 呉君は自動車の免許持ってるの?
呉 持ってないよ。でも、自動車は自転車の親分みたいなもんだろ。
王 いや、ずいぶん違うよ。
呉 うちの親父が車を運転してて、塀にぶつかったんだ。
王 へえー。大丈夫だったの?
呉 うん、親父は大丈夫だったんだけど、車は……。
王 大破? 炎上したの?
呉 いや、しなかった。でも、かわりに三輪車になった。
王 まさか!
呉 タイヤが一つとれたからそうになったんだ。
王 へえー、それで走れたの?
呉 なんとか。でも、左へヨロヨロ、右へフラフラ。とても危なかったんだ。で、走り続けてるうちに、今度は街路樹にぶつかった。